

事業の名称： 多根盆踊り復活継承事業

団 体 名	地域自主組織 多根の郷	事 業 費	265,897円
代 表 者	会長 安井 淳	補助金交付額	200,000円

現状と課題

遠い昔から、盆の恒例行事として踊られてきた盆踊り、歴史の変容の中で廃れ、近年では約50年前に上多根神楽団によって復活されていたが、これもコロナ禍や、水害・復旧工事等により中断されてしまい、今日に至った。

当時、途絶えさせないようにと、ビデオ映像は撮ったものの、あくまでも記録でしかなく、実践的な復活と次代への継承には程遠い状況となっていた。

事業の目的

盆踊りの復活と、次代を担える世代への継承を行うことにより、より地域への関わりを増やし人材の確保・育成につなげる。

実 施 内 容

◇実施状況

- ・継承に向けた話し合い 3月27日、4月2日、4月9日、
- ・練習日
4月22日、5月13日、21日、30日、7月5日、10月22日、29日
- ・イーグル若竹祭の盆踊り
6月7日 口説き7名・踊り参加者40名（内地区外14名）
- ・福祉祭り
11月2日 口説き3名・手振り参加者50名（内地区外0名）



◇成果と課題

新しい顔ぶれで、新しい衣装で、若々しく元気な盆踊りを見せるためには、自信をもって舞台に立てるよう、更に口説きの練習を重ねていかねばならない。

まだ、会得していない「切替し」まで出来ないと真の後継者にはなれないが、まだまだ時間を要すことであり、組織としてサポートしていく。更に、小さな子供たちとその親世代にも踊りへの参加を促すことで、楽しく伸び伸びと子育てができる地域として認識してもらうことができ、次世代への継承と担い手育成に繋がった。

